

盛大生が学習を支援 ラーニング・サポーター

ラーニング・サポーターの証明書交付式が5月9日、盛岡大学で行われました。教員志望の大学生が市内小中学校で学習支援などを行います。希望した盛岡大学の学生165人を代表し、児童教育学科3年の仁佐瀬遥にさせはるかさんに、熊谷教育長から証明書が交付されました。同科3年の南口雄己みなみぐちゆうじさんが代表挨拶し「多くの人たちの協力がある。感謝の気持ちを忘れず精一杯取り組む」と力強く決意を表明しました。



11月末まで毎週開催 たきざわ日曜朝市始まる

たきざわ日曜朝市が今年も4月1日から始まりました。この朝市は、たきざわ日曜朝市会（小山田允会長）が主催しているもので、11月末までの毎週日曜日にビッグルーフ滝沢防災広場（駐車場）で午前5時～午前8時まで開催します。小山田会長は「皆様のおかげで初開催から3年目となりました。これからもより良いものをお届けしたいと思います」と笑顔で話していました。

晴天のパノラマ満喫 鞍掛山山開きで万歳三唱

鞍掛山山開きが4月29日、たきざわ自然情報センター前で行われました。山開き式では、柳村市長が「山頂では迫力ある岩手山が見え、展望が素晴らしい。山頂を目指してがんばろう」などとあいさつしました。当日は雲一つない快晴で、登山愛好家の皆さんなど約690人が登山を楽しみました。山頂では雄大な岩手山をバックに万歳三唱や記念撮影をするなど、鞍掛山を満喫していました。



災害時に避難所として使用 青少年交流の家と覚書締結

市と国立岩手山青少年交流の家は5月9日、大規模災害時における臨時避難所としての使用に関する覚書を締結しました。青少年交流の家は最大400人が使用できる宿泊施設などを備え、長期間の避難生活に対応できるものとして期待されています。青少年交流の家の松田栄二所長は「今後災害が発生した際には安心と安全のよりどころとなり、防災力強化の一助となれば幸いです」と話していました。

全国大会優勝の歌声 藤岡祐衣さんに迫る

滝沢市在住の藤岡祐衣^{ふじおか ゆい}さんは全国大会優勝経験もある民謡歌手です。民謡歌手だったお母さんの影響で物心がついた時には民謡を始めていて、25歳になった現在も数多くの大会に出場をしています。

普段は保育士として働いている藤岡さん。勤務先の保育園は年中無休のため、大会には休みを取って参加していますが、「いってらっしゃい」や「頑張っておいで」と温かい言葉で送り出してくれるため助かっているそうです。

普段の練習は盛岡市本宮にある先生の所へ通うほか、近所への迷惑を考慮し、20～30分の通勤時間に車内で行っています。練習に専念できるよう、お母さんが運転しているそうです。

大会へはご両親も同行し、全面サポート。東北管内であればお父さんの運転する車で移動します。「家族のサポートのおかげでここまで続けてこられたので本当に感謝している」と家族への感謝を忘れません。民謡への思いを聞かれると「最高賞である内閣総理大臣賞を目指したい。民謡人口が減ってきているので、若い人たちにも興味を持って聞きに来てほしい」話していました。



農業を肌で感じる もぐうまプロジェクト vol.1

たきざわ3しょくプロジェクト「もぐうまプログラム vol.1」が5月6日に行われました。前半は、山金第三農園^{やまき}で黄金の濃蜜りんご「滝沢はるか」の摘花作業体験、わさび菜の収穫体験を行いました。

後半は、由井野菜園直売所^{ゆい やさいえん}で由井さんが生産しているサツマイモの焼き芋を食べながら就農したきっかけや、農作物へのこだわりなどさまざまな話を聞き、農業への理解や関心を深めました。



チャグバスを運行 保育園児が装飾手掛ける

6月9日(土)のチャグチャグ馬コまでの間、馬コをモチーフに装飾した路線バス「チャグバス」が、市内近郊を運行しています。バスの装飾作業が5月25日、ハレルヤ保育園で園児により行われました。馬コ当日には、ビッグルーフ滝沢と鬼越蒼前神社間をシャトル運行します。この事業は、公共交通利用促進と馬コの観光客の増加を目的とし、市と県北バスが共同で実施したものです。